

# 第35回記念くろくの少年野球選手権

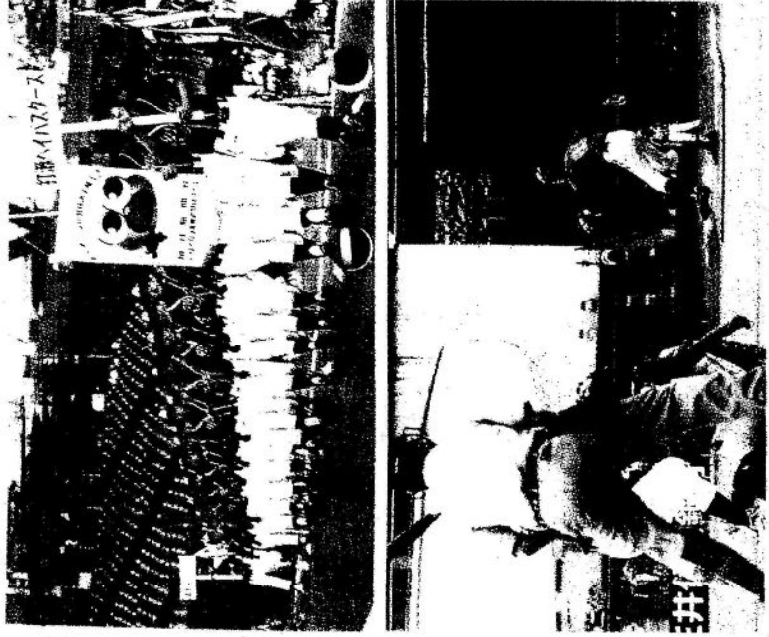
## 打瀬ベイバスターズ

### 3回戦をよならで敗退

第35回記念くろくの少年野球選手権大会が8月9日、埼玉県所沢市の西武ドームで開催。関東を中心に全国40支部

の予選を勝ち抜いた強豪が競戦を繰り広げた。千葉支部代表の打瀬ベイバスターズは2回戦から登場。初戦は埼玉・

富士見エンゼルスと対戦。白熱戦の末、1点差でエンゼルスを抑え切った。3回戦は山梨県の田富クラブと対戦。1



西武ドームを会場行進する打瀬ベイバスターズ(上)と好投した緑川悠希投手

点リードで迎えた最終回裏、不覚のミスなら負けを喫したが、3回戦ともに昇格を誇る好試合で球場を沸かせた。

#### ▽2回戦

打瀬ベイバスターズ

2	0	1	0	1	3	4
1	0	1	0	0	1	3

富士見エンゼルス

▽バッテリー 緑川悠希 佐々木崇(打) 陣部田富

▽本塁打 高橋(宣)

▽2塁打 岡本統彦(本)

木永誠人、田村(む)

緑川、顔面投手がそろって

8奪三振を放つ。シートゲー

ムで応援を沸かせたが最後

まで集中力を維持したベイバ

スターズが鏡の勝。1回

表、ベイバスターズは1番岡

本が右越の暴打。2番山拓

人がバントで送り、3番佐々

木が投前打。先2塁の好

機をつくる。3番木永が右中

間へ先制2点の暴打を放つ

た。エンゼルスは1回裏、2

番高橋が粘り9球目をとらえ

てうごきホムヤ。3回

裏連続三振での2死後、左前

打の1番木永を3塁のタイ

ムアウトでホームに運んで同

点。するとベイバスターズは

4回、左前打、盗塁の9番高

橋悠希が岡本の中越を暴打で

追加点。再び一歩リード。し

かし、エンゼルスもその裏、

ヒット、盗塁の5番木永が6

番木永のバントと8番山拓の

右前打を生還して同点。一歩

もゆずらなかつた。そして迎

えたる回、ベイバスターズは

先頭6番田村が中越を暴打で

7番高橋がバントで送る

た田村は美に果敢なホームス

テールを成功させて1点を争

う激戦にトリオドを打った。

ベイバスターズは岡本の4打

撃の長打、1塁打が光った。

また、エンゼルスは顔面投手

が5回に見せた中越打線から奪

つたる若三振も見事だった。

▽3回戦

打瀬ベイバスターズ

0	0	2	0	0	2
1	0	0	0	0	2

田富クラブ

▽バッテリー 緑川悠希、

佐々木崇、緑川悠希、佐々

木崇、緑川悠希、佐々木

崇(打)、相澤(樋口)(田)

▽3塁打 相澤(田)

▽2塁打 小野蒼太、高畑

真雄(打)

田富は1回裏1死後、2番

渡辺が内野安打。盗塁も決

め、3番相澤が中間3塁打で

先制のホームを踏んだ。ベイ

バスターズは先頭8番小野

が右越の暴打。9番高橋が中

越同点の暴打を放ち、2番古

川拓人の左前打を逆転した。

このあと両チーム共に攻め

あぐねた。ベイバスターズは

このまま田富を抑え切ること

思われたが8回裏、思いがけ

ない落とし穴が口をあけてい

た。田富は中越打線からの攻

撃。先頭の3番相澤がライナ

ー上でセンターへ、すかさず盗

塁を決め、5番小池が3塁へ

同点タイムアウト。なお2死満

塁の好機が連続3番木永が放

つた中前打がきまなら決打と

なり、ベイバスターズは情し

い星を落とした。